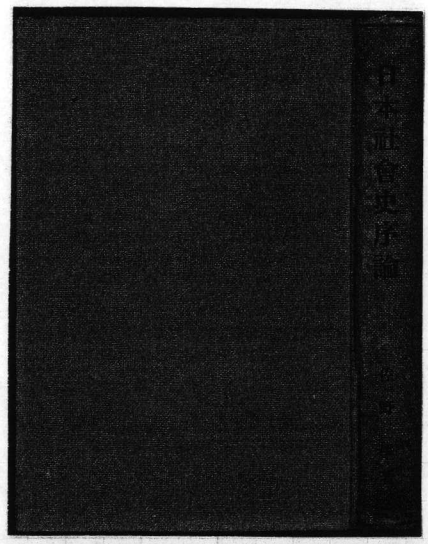


佐野學 （号） 評論家。明治二十五年二月二十一日大分縣生れ、昭和十八年二月九日没（二九二一九三三）。筆名佐野額人、佐野額太郎、片島新等。大正六年東京帝國大學法科大學政治學科卒。十一年日本共產黨入黨。再下獄中の昭和八年、鍋山貞親と共ニ「轉回聲明」。十八年出獄、二十一年京橋田大學教授。翌年日本政治經濟研究所を創設し、民族社會主義、ニ反ソ・反共活動に努むた。

著書『河激派』（片島新名、麻山政介共著、石川八郎編、大正八年六月十八日民友社「新時代叢書」）、『社會制度の諸研究』（大正十年十一月二十日同人社書店）、『社會思潮十講』、建設者同盟講演集『合著・平野方三編、大正十一年七月十日同人社書店）、『日本社會史序論』（大正十一年七月十日同人社書店）、『社會の進化』（大正十一年十月十八日日進堂「近世文化叢書」）、『革命ロシアの研究十講』（合著・前衛社、田所輝爾編、大正十一年十月、千八百酒井書店）、『最近の獨逸研究』（合著・表現社編、大正十二年一月十八日、松堂書店）、『社會主義雜稿』（昭和二年八月、千五百白揚社）、『プロレタリアートと無産論』（昭和二年十月、千五百南米書院「無産者大學パンフレット」）



「一」( )、ロレーニン主義の「二」の研究（昭和二年二月十六日叢文閣）、『日本歴史』（昭和二年二月、千五百南米書院「無産者自由大學」）、『歴史過程』

の展望（昭和二年五月十五白希堂閣）、『主義學說の序列』（昭和

二年六月十五日、改訂文庫『大日本百科全書』(『唯物史觀序説』(合  
 著、昭和五年二月十五日)。ロヒタリヤ科學研究所編刊、鐵塔書院(發  
 行)ニ著『宗教の心』(譯、昭和六年九月、二十日希望閣)、『佐  
 野、鍋山、轉向聲』(昭和八年六月八日、廣文社印刷・無刊記)、  
 『我々の綱領』(昭和二十一年一月十  
 日新人社「新入叢書」)、『天皇制と  
 社會主義』(昭和二十一年二月十五日  
 協同書房)、『日本歴史の新しい考へ  
 方』(昭和二十一年四月五日生活社  
 「日本叢書」)、『日本歴史』(昭和二十一年八月十五日北斗書院)、  
 『民族と社會主義』(昭和二十一年八月二十日協同出版社)、『日本  
 古代史論』(昭和二十一年十一月二十五日國民社)、『學生と政治』  
 (梅橋渡 著、昭和二十二年一月二十日竹井書房)、『民族と民主  
 主義』(昭和二十二年四月十日九州書院)、『國家と武裝—日本無武  
 裝の理論的基礎』(昭和二十六年五月五日鮎燈社)等。  
 文獻『佐野字の人と思想』(佐野 博・大野信三 著、鍋山貞親・勝村一男 著、昭和五十一年十  
 月日本政治経済研究所編刊)等。

